

沿革

昭和24年	12月	岡山大学医学部において学部内の研究を円滑にし、その能率の向上を期するため、学部の共同利用施設として電子顕微鏡室が発足
昭和25年	2月	共同利用の最初の機器として、日立製作所製 HU-6型電子顕微鏡が設置された
昭和29年	6月	上記を発展・充実させ、研究分野全般にわたる共同利用施設として中央研究室が設置され、生化学教室1階を本室とし電子顕微鏡分室及びアイソトープ分室が置かれた
昭和29年	7月	中央研究室運営委員会規程を制定
昭和38年	4月	共同実験室と改称し次の3分室が置かれ、それぞれ下記の研究室分野を受け持つこととなる 第1分室：電子顕微鏡的研究 第2分室：物理化学的分析・測定及びサンプリング アイソトープ分室：各種の同位元素を用いた研究
昭和39年	4月	第1及び第2分室は新築された医学部基礎医学棟へ移転
昭和40年	4月	岡山大学医学部共同実験室運営規程を制定
昭和47年	4月	共同実験室からアイソトープ分室を分離
平成元年	4月	大学院最先端機器として遺伝子工学関連機器が導入され、第3分室が設置された
平成18年	4月	学外者利用の実施
平成22年	11月	組織標本作製サービスの開始
平成27年	6月	融合棟へ移転（受付、核酸、タンパク、質量分析、細胞関連機器、光学顕微鏡、遠心機、光度計など）
平成29年	6月	第4分室設置
令和元年	11月	旧RI研究センター棟への移転計画中止 （電子顕微鏡、フォトセンター、組織標本室、低温実験室等）
令和3年	10月	オンラインでの機器の予約開始（学内）